

特集

地域と共にある学校づくり

— 所沢市のコミュニティ・スクールのこれから —

令和5年度から段階的に市内のモデル校で導入してきた「コミュニティ・スクール」が、4月から市内の全市立小・中学校でスタートしました！

「地域と共にある学校づくり」を実現するためのコミュニティ・スクールとはいったいどのようなものなのでしょうか。モデル校での取り組みを紹介します。

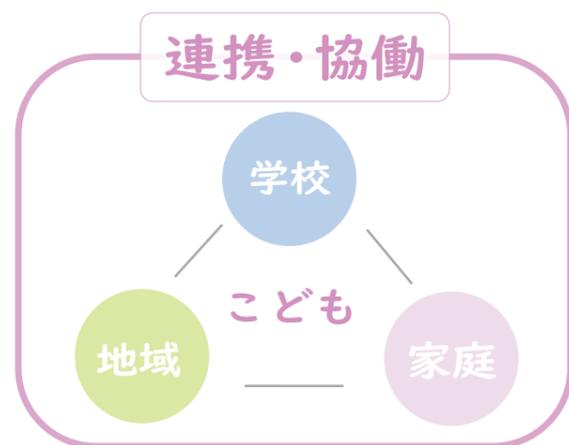
☎ 学校教育課 ☎ 2998-9238



コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置している学校のことです。学校運営協議会は、地域に住んでいる方や保護者、学校や子どもに関わる仕事に就いている方などが委員となり、学校運営に継続的に関わる会議体です。

学校は地域の特徴を活かし、創意工夫して特色ある学校づくりを進めています。今後、コミュニティ・スクールを通じて、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、子どもたちの成長を育む視点で信頼関係を深め、「地域と共にある学校」を目指していきます。



どんな活動をしているの？

令和5年度からモデル校としてスタートしたコミュニティ・スクールの取り組みを紹介します。

北野中学校区 (北野小・北中小・北野中)

学校農園で交流

PTAの協力を得て学校農園でじゃがいもや落花生を作り、子ども食堂や近くの保育園に寄付をしました



「ずっと所沢を好きでいてほしいから」

3つの小・中学校の学校運営協議会なので、会議では意見しやすい雰囲気作りを心がけています。子どもたちにも地域にも「所沢っていいところだな」と思ってもらってほしくて、協議会として何が出来るかを考えています。その姿も含めて、背中を見せ続けていきたいです。

北野中学校区学校運営協議会会長
仲丸 知之さん



▲ 農園での作業を通じて、人間関係が深まります



ロゴをデザインした吉村さんと中島さん

「私たちが作成したロゴです」

学校運営協議会から北野中学校美術部にロゴ作成のお話をいただきました。児童・生徒・保護者・先生・地域の方の投票で、私たちが考えたロゴが選ばれました。作成を通じてコミュニティ・スクールの考え方が浸透したと思います。

3校の校章をモチーフに、人が手をつなぐ形をデザインしました。人々の個性が調和することをグラデーションで表しています



北野中学校区コミュニティ・スクールの頭文字KCSをつなげ、地域全体がCSとしてつながってほしいという思いを表現しました